

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

外国人との共生をめざして

～集住する外国人をどう理解していくのか～

### Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

#### 1 Description of the Project (プロジェクトの概説) <全体像>

本校では、これまでも校区内に集住する外国人との共生をめざして、国際理解を中心とした学習を展開するなど、地域に根ざした教育活動を実践してきた。そこで、さらに地域とともに地域から学ぶ持続可能な開発のための教育（ESD）を推進しようと考えた。

毎年4年生の総合的な学習の時間で、ブラジルを取り上げ、その文化に親しみ理解する試みを続けてきた結果、日本人児童が外国人児童を偏見なく見ることができるようになり、子どもを取り巻く地域の大人にも共生の意識が芽生えてきたと考えている。

このことをESDの推進に結びつけていくために、これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に、児童会活動や校区への情報発信活動も関連づけたESDアクティビティプログラムを策定し、実践を行っていくことにした。このESDアクティビティプログラムを基に継続実践していくことで、将来にわたって外国人との共生を意識し、外国人のよさに気づき、同時に日本の文化を見直し、国際理解や多文化共生の心を育んでいくことができると考えている。

#### 2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的) <活動のねらい>

本校では、ESDの取り組みへの入り口を「国際理解」の立場からとしたい。なぜなら、平成4年にブラジルの児童を受け入れてから20年間、増え続ける外国人との共生を抜きにしては、教育活動が成り立たなかったからである。平成20年には、全校児童855名の内、外国人児童が155名となり、その割合は20%に迫った。また、当時は外国人児童の80%がブラジル人であったが、近年はフィリピン人の編入が急増し、今後、フィリピン人がブラジル人を上回ると予測している。

そこで、外国の文化を知ることを出発点として、自国の文化や身近な地域にも目を向けさせ、文化の違いを感じさせるとともに、自国や外国のよい面をそれぞれ尊重できる心を育てたい。これらは、国際理解を深めさせ、共生を目指す姿と考える。

本校では、以下の4つの活動と目標を掲げて取り組む。

##### (1) ブラジルやフィリピンの文化を理解する活動

①校区を探検して、ブラジルやフィリピンの店を見つける。(2年生)

②ブラジルやフィリピンの店で売っているものを調べる。(4年生)

- ・校区内の外国の店を直接調べる活動を通して、自分たちの身近に異なる文化があるという実感をもたせる。
- ・外国の食材や調理方法を知ったり体験したりすることで、外国の文化を身近に感じたり、愛着をもったりできるようにし、これからも外国人と共生していこうとする気持ちを高める。

(2) 地域に伝わる日本文化に触れる活動

- ①地域の名人に学ぶ。(1, 2, 3年生)
- ②幼稚園・保育園児との交流会(1年生)
  - ・校区の方から伝統的な遊びや文化を教えていただくことで、時を経て受け継がれてきたもののよさを感じ、受け継いでいこうという気持ちを高める。

(3) 地域とともに行う活動

- ①春のクリーン大活動(校区内ゴミ拾い, 公園の掃除活動)
- ②岩田どんどこまつり(学校, 校区住民, 自治会, P T A協働行事)
- ③校区防災訓練
  - ・校区の方から教えていただくことで、人とかかわること、人から学ぶことの価値や心地よさを感じ、これからも積極的にかかわっていこうという気持ちを高める。

(4) 行事などを関連づけた活動

- ①運動会, 学芸会, 夏休み作品展, 授業参観(年間3回), 岩田キング, あいさつ運動, 地区別懇談会 (\*岩田キング…ゴム飛ばしや空き缶積み等、児童の遊びの記録への挑戦大会)
  - ・教育活動を地域に発信する活動を通して、地域の人々と積極的にかかわっていこうとする気持ちを高める。

3 Execution (プロジェクトの実施) <活動の内容>

(1) ESDカレンダー

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">老人に学ぶ昔の遊び</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">園児と交流会</div> </div>											
2年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 20%;">校区の探検</div>											
3年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 30%;">地域の名人の技に挑戦</div>											
4年	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">人権教育</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ブラジル調べ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ブラジルの おかしづくり</div> </div>											
5年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%;">障がい者の生活を学ぶ</div>											
6年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%;">多文化共生を学ぶ</div>											
国際	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 15%;">サマー スクール</div>											
行事等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岩田キング</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ブラジル, フィリ ピン料理講習会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">防災 訓練</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岩田 どんどこまつり</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">クリーン 大活動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学芸会</div> </div>											

## (2) ブラジルやフィリピンの文化を理解する活動

4年生は総合的な学習の時間で、ブラジルについて調べ、お菓子作りを体験することを通して、外国の文化を知り、日本と違いがあることを実感する。

10月に、国際学級の教員とブラジル・フィリピンの保護者が中心となって、料理教室を開催し、多くの児童や保護者が参加する。いろいろな国の児童、保護者が集まり、作って食べる活動を通して、互いの理解と親交を深める。



<ブラジルのお店を調査>



<ブラジル・フィリピン料理教室>

## (3) 地域に伝わる日本文化に触れる活動

1年生は、老人会のボランティアの方から昔の遊びを教わり、幼稚園や保育園児との交流会で、遊びを教える活動を通してお互いの交流を深める。



<老人から昔の遊びを教わる>



<幼稚園・保育園児との交流会>

## (4) 地域とともに行う活動

毎年、5月に地域にも呼びかけ、児童、地域が一体となって地元の公園の清掃活動を行っている。地域の方々との交流やふれあいの場であり、地域への愛着を深める場でもある。



<公園の清掃活動>

#### 4 Type of materials to be used (使用する教材)

- 「小学校キャリア教育の手引き」平成23年5月 文部科学省 (WEB版)  
「かがやくとよはし」平成23年4月1日 豊橋市教育委員会  
キャリア教育推進の手引「小中学校9年間を見通したキャリア教育」  
愛知県教育委員会 (WEB版)  
「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 愛知県教育委員会 (WEB版)

#### 5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes?

##### (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

指導教師は、ふだんの生活の中でも児童の態度・姿勢を観察し、プロジェクトの後には、振り返りカードへの記述によって評価する。

それとともに、以下のような評価方法をとる。

- ・ 児童のさまざまな活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・ 学習や活動のまとめとして、授業公開や夏休みの作品展、行事(学芸会、岩田どんどこまつり)等での成果の発表や、地域への発信を通して、関心・意欲・態度等を観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、行事・保護者会後のアンケート調査、年2回の全保護者を対象としたアンケート調査等から、ESDアクティビティプログラムの見直しを図り、地域とともに生きる岩田っ子を育成するための活動内容を改善していく。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

1/4/2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Iwata Elementary School